

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	あま市家庭教育支援チーム (呼称:特定非営利活動法人ママ・ぷらす) URL: https://mama-plus.com/
②活動拠点	あま市七宝町川部山王 134-1
③活動範囲	あま市、大治町、津島市、愛西市、名古屋市 公共施設
④組織体制	理事 4 人、スタッフ 4 人 託児スタッフ 30 人、子育て世帯訪問支援事業訪問員 10 人 大治町ランドセル事業スタッフ 8 人、講師 45 人
⑤活動開始年度	平成 18 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) ママ・ぷらす事務局 (TEL)080-1593-4677 (E-mail)toiawasemp@mama-plus.com

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

【具体的な活動内容】

●主催事業

・チビママサークルWithKids（参加無料の親子ふれあい交流会開催）

賛助会員会費より運営

0～6歳のお子さんと保護者が楽しめる交流会

赤ちゃん連れヨガやフォトブース、パン作り講座等毎月内容を変更して実施



・託児付き講座

ヨガ、コミュニケーション講座など不定期開催



③活動内容

・ママ講師起用継続教室

ヨガ、英会話教室、ダンス教室など 18 教室開催





- ・おさがり交換会

年4回ほど開催

マタニティ用品や子ども服など、無料で使わなくなったものを譲ったり、譲ってもらったりする会

- ・託児ボランティア養成講座

救命講習や保育士の講義など

修了生は託児ボランティアとして活躍中

- ・講師養成講座

ヨガ講師養成講座、キッズ防犯教室講師養成講座を開催

講師デビューの場も提供

- 受託事業

- ・あま市、大治町 「広域ファミリー・サポート・センター事業」
- ・あま市健康推進課 「出張託児」「離乳食教室」「乳児家庭訪問事業」
- ・あま市生涯学習課 「小学生親子ふれあい教室」
- ・あま市学校教育課 「キッズ防犯教室」
- ・あま市人権推進課 「女性のつながりサポート事業」「出張託児」
- ・津島市高齢介護課 「高齢者ヨガ教室」「通いの場事業」
- ・愛西市高齢福祉課 「高齢者ヨガ教室」
- ・名古屋市枇杷島スポーツセンター、中村スポーツセンター、南陽プール、富田北プール 「親子ふれあい教室」「親子じゃぶじゃぶ教室」「子育て広場」「親子ヨガ」「にじいろ教室」他文化講座等
- ・大治町スポーツセンター 「赤ちゃん教室」「出張託児」「体操教室」「小中学生卓球教室」等
- ・子育て支援センターめばえ 「親子ヨガ」「親子体幹講座」

	<p>●まちづくりなどへの参加</p> <p>あま市「放課後子ども教室のあり方研究会」 「男女共同参画審議会」 「あま市総合計画審議会」 「地域公共交通会議」 「まちづくり委員」 「スポーツ推進連絡会議委員」 社会福祉協議会「評議委員会」 「ボランティアセンター運営委員会」</p> <p>大治町「子ども・子育て会議」 家庭教育推進協議会大治委員 津島市「子ども・子育て会議」 戸田川こどもランド「サポート会議」</p>
<p>④活動の成果 (活動実績がある 場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも気軽に参加できる親子交流会にて保護者同士のつながりができた方が多数いた。 ・課をまたいで委託を受けることにより、住民の細かな情報を得ることにつながり、住民のニーズに合った適切な支援をすることができている。 ・主催教室では、様々な地域の方の参加により、地域の特性などを把握することに努めることで、参加者に必要な情報を届けることができた。 ・おさがり交換会では、金銭的に困っている方の手助けや、地域との交流の場になっている。
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (賛助会員会費)</p>